

## キャンパスの総合的利用方針について

令和7年6月20日 役員会承認

東京科学大学では【「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探求し、社会とともに新たな価値を創造する】をミッションに掲げ、大学統合のモメンタムを活かした全学改革により医工連携を含む異分野融合の研究・教育体制へ迅速に転換し、世界最高水準の研究・教育を実現する。世界に開かれた「Science Tokyo」としてグローバルに進展し、人文科学・社会科学的な視点をも含めた「科学」の発展を担い、社会とともに活力ある未来を築くことを目指している。

キャンパスの再開発・再整備を通じて本学のミッションを推進するため、キャンパス将来構想をもとに、キャンパスの総合的利用方針を以下のとおり定める。

### 1. 大岡山キャンパス

(中央・石川台地区)

本部キャンパスとしての歴史と伝統を継承していきながら、キャンパス環境の改善と教育機能の充実化を図り、学修博一貫教育等を行う教育・研究の場とする。

(緑が丘・北地区)

施設の再ゾーニングにより、運動施設や学生寮等を集約するとともに産学連携機能の充実化を図り、地域社会との連携の場とする。

### 2. 湯島/駿河台キャンパス

(湯島地区)

敷地の高度利用を図り、都心型の教育・研究拠点としての機能を将来に向けて発展させ、リサーチホスピタルの役割を持った、臨床型メドテック・イノベーションの拠点とする。

(駿河台地区)

再開発により、医療系人材の居住機能を併せ持つ産学連携のサテライト拠点とする。

### 3. 横浜キャンパス

キャンパスの再開発と既存スペースの再配置により、大型実験スペースを中心に確保し、基礎から大型プロジェクト研究等を行う研究・実験の場とする。

### 4. 田町キャンパス

田町駅前という立地を活かし、大学間・産学官・国際連携のためのスペースを確保し、新たなスタートアップを創出する、国際的なビジネス・産学官連携の拠点とする。

### 5. 国府台キャンパス

キャンパスの抜本的整備により高度な研究環境を確保し、国内外の研究者が企業等と新領域の共同研究に専念する研究・社会実装の場とする。

以上